

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホーム妙高愛宕の園

作成日: R3 年 12 月 9 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	運営法人が変わった事により「重度化に関する指針」も変わっているが契約時に説明が行われていない。また、看取りに関する思いは職員間で意識統一が図られているが、今後は更に研修等に参加し力をつけていくことが重要。	重度化の指針の確認・看取り研修の確認を法人本部と連携をとります。	重度化の指針を法人本部に確認し契約時に説明を行います。	1ヶ月
2	24	入居後も地域の中での本人主体の暮らしを支えるためには、利用者一人一人の生活環境や地域の中での関係性の把握を深める事と、入居後の情報の積み重ねと共有方法の工夫が必要。	利用者一人一人の生活環境や地域の中での関係性の把握に努め入居後の情報収集も行います。	随時家族との電話や「お知らせ」として文書を出す等して情報共有する。	3ヶ月
3	7	虐待防止については、より「虐待防止関連法」について学ぶ機会の設定や、現在検討中の法人内グループホームの合同研修を実施して、虐待や不適切ケアの防止の徹底に取り組む事が必要。	虐待防止について、早期に委員会を開く体制を法人内で検討し職員に学ぶ機会を設定します。	法人内GH管理者で話し合い、早期に委員会を立ち上げる体制を整え指針等を作成します。	12ヶ月
4	10	面会の自粛に伴い、家族と直接話す機会は少なくなっているが、利用者の生活を支える為には家族との協働が必要な為、利用者の暮らしを伝える事と家族からの引き出す工夫が必要。	毎月の近況報告だけではなく、どのような形で家族に日々の暮らしを伝える事ができ、情報を伺えるか検討します。	毎月行うユニット会議でケアマネジャー中心に話合います。	12ヶ月
5	35	事業所周辺は空き家が多く、住民構成も高齢者が多い事もあり近隣住民の協力体制が得られない状況にある。今後は予定している地域の自主防災訓練への参加を通じて、地域資源を活用していく事が重要。	町内の防災訓練に参加し協力体制を得る。	運営推進会議などで情報共有します。	12ヶ月